

学校だより 潮鳴り No.4

令和4年9月2日

暑さの残る毎日ですが、暦の上では、9月6日が白露となります。朝晩の気温が下がり、露が生じ始める日ということです。保護者の皆様におかれましては、益々ご清栄のこととお喜び申し上げます。

さて、2学期の始業式を迎え、生徒たちは元気に登校する姿が見られました。職員や生徒に対し、2学期以降の取組について、以下のように話したことを短くまとめました。ご一読ください。

*大洋中学校の詳しい様子については、ホームページをご覧ください。

1 職員へのお話

(1) 日課表の変更

○8:00登校の確認

○主な目的は、「働き方改革」の推進

(2) 研修・・・教員が自己研鑽のために「勤務時間外」に自発的に行う研修と職務命令による研修

○教育基本法9条（研修）

法律に定める学校の教員は、自己の崇高な使命を深く自覚し、絶えず研究と修養に励み、その職責の遂行に努めなければならない。

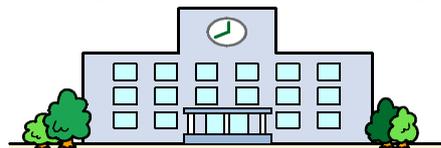
(3) ワークライフ・バランス

○「働くすべての方々が、『仕事』と育児や介護、趣味や学習、休養、地域活動といった『仕事以外の生活』との調和をとり、その両方を充実させる働き方・生き方」のこと。仕事がかたくいっていると私生活でも心のゆとりを持つことができ、また、私生活が充実することで仕事のパフォーマンスも上がるという好循環を目指します。（政府広報）

(4) 我々、教職員も、これからの人生「志をもち 自らの手で 未来を拓く」

(5) 座右の銘

「他人からの賞賛や感謝など求める必要はない。自分は世の中に貢献しているという自己満足で十分である。」 心理学者：アルフレッド・アドラー



2 2学期始業式の話

(1) 「志」

志は、大洋中学校の目標「志をもち、自らの手で、未来を拓く生徒」から来ています。志とは、自分の目標や目的のことです。総体を終えた3年生にとっては、特に、大切なことだと思います。夏休み前と夏休み中の県東地区の総体、県の総体、ほとんどの部活を応援に行かせていただきました。そして、応援の後、学校へ帰ってきてから、皆さんの挨拶を受け、3年生一人一人の感想を聞きました。全員ではないのですが、それぞれ、嬉しかったことや楽しかったこと、などたくさんの感想を聞かせていただきました。そして、同じ質問をしました。「さあ、明日からどうする?」。この言葉は「次の自分の目標、目的はどうしますか?」ということです。特に3年生は、夏休み期間中に三者面談を終えていると思います。具体的に、自分の将来の目標・目的をもって生活していきましょう。

(2) 「認め合う」

「キャッチボール」と「ドッジボール」の話を覚えていますか?生徒の皆さん、保護者、先生、皆のキャッチボールが必要です。相手のことを考えて、基本的には、受け取りやすい言葉や態度が必要です。普通に、キャッチボールができていれば、早々トラブルは発生しません。そして、お互いの考えや意見を上手に認め合えるような話し合いができるようになっていきたいと思います。続いて、ドッジボール、実はこれも必要です。間違った考えをしている相手に対して、理由もきちんと説明する。2学期も「キャッチボール」と「ドッジボール」を上手に使っていきましょう。良い事は良い、悪い事は悪い、お互いに言えるようになるといいですね。